

令和4年度ふれあいトーク議事録(10月3日)

日時 令和4年10月3日(月) 19:00～  
 場所 阿尾漁村センター  
 出席者 16名  
 市長、副市長、企画政策部長、総務部長、産業振興部長、市民部長、建設部長、教育次長、  
 防災・危機管理監、消防監理監、地域振興課、地域担当職員  
 内容 19:00～19:05 冒頭の説明等  
 19:05～19:41 あいさつ、市政の概要について 市長説明  
 19:41～19:43 阿尾地区事業概要について 地域振興課説明  
 19:43～20:22 意見交換  
 20:22～20:28 氷見市芸術文化館(教育次長)、マイナンバーカード(市民部長)について説明  
 20:28～20:30 閉会あいさつ 市長、阿尾地域自治振興委員会 会長

質問の内容	回答
1 <ul style="list-style-type: none"> <li>阿尾地域の地域づくり協議会必要か？</li> <li>白上池の工事状況。</li> <li>海岸に打ちあがっているゴミを撤去してもらいたい。</li> <li>漁村センター(主にトイレ)を改修できないか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(企画政策部長)地域づくり協議会は地域の特性に合わせた課題に対処し、活動の合理化などのために必要。また、協議会を発足することで市から補助金が出るので、その補助金でトイレの改修工事をするのも可能である。</li> <li>(建設部長)白上池は国が基準とする耐震の安全率が高く、事業が後回しとなっている。また、必要な安全率に達するには事業費用が他のため池より3～4倍かかり、県からは事業の圧縮が必要といわれており、市からは引き続き県に働きかけていく。</li> <li>(市民部長)海岸のごみの撤去は県の推進計画に基づいて対応している。県と相談しながら対応していく。</li> </ul>
2 <ul style="list-style-type: none"> <li>副市長が氷見市にいられての感想をお聞かせいただきたい。また、獅子舞の文化についてどう思われるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(副市長)氷見市は美しい。氷見市に賑わいを生み出すために、文化振興を継続していく。また獅子舞は太平洋側のものとは異なるものであり素晴らしいと感じる。芸術文化館は氷見市の新たなシンボルになりえるものであり、オープンで披露される獅子舞もとても楽しみである。</li> </ul>
3 <ul style="list-style-type: none"> <li>前回のふれあいトークの際にも質問したが、防火センターのシャッターに描かれているイラストを直してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(消防管理監)前回と同じ回答で申し訳ないが、順次改修をしており、地区に応じたイラストを検討する。</li> </ul>
4 <ul style="list-style-type: none"> <li>北八代の豆田池が決壊して時間がたつが、堤防の改修を速やかにしていただけないか？</li> <li>道路やゴミ置き場への不法投棄について、分かりやすい対処方法は無いのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(建設部長)豆田池は昨年県が調査し、間もなく事業にとりかかる。事業は全て県が行い、R7年までに完了予定。</li> <li>(市民部長)犯人が絞れてきているがまだ捕まえられてはいない。引き続きパトロールを行い、市としても啓発していく。</li> </ul>
5 <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の台風接近に伴う自主避難所の開設を踏まえ、地区として今後どのように対応すれば良いか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(防災・危機管理監)地区には自主避難所開設の協力要請した。台風14号は県に近づく際には弱まっていたので、市ではいきいき元気館1カ所のみとし、指定避難所である海峰小学校の開設は見送った。また、自主避難所は市が開設したものではなく地区へのお願いということでメディアへの公表はしなかった。今後も高齢者などへの声掛け、避難所を開設などのご協力をお願いしたい。</li> </ul>
6 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業の後継者が少なく、若い人を育成するにはどうすればよいのか？</li> <li>増加する水害への対応、及び河川より低い地域への地盤整備の計画は？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(産業振興部長)県が開設した富山農業未来カレッジにおいて、市から4人卒業し、就農している。冬場には短期の講座などもあるので、受講して育成に携わってほしい。新規就農や集落営農には、国の支援制度もあるので市やJAIに相談してほしい。</li> <li>(建設部長)河川の脆弱部分は県に改修をお願いしている。国は防災には限界があるとし、減災への意識改革を進めている。情報を精査し、命を守る行動をとってほしい。また、低い土地への高上げ事業例はなく、そのようなところは、そもそも生活区域から外す取り組みを国は行っている。</li> </ul>